

助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人ブーゲンビリア

代表者・役職名 氏名 統括理事長 内田絵子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ピアサポーター養成講座

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

現統括理事長、内田絵子が滞在中のシンガポールで乳がんの治療を受け、尊厳のある医療に感銘を受けた。帰国後シンガポールでの医療の経験を生かすため、当初は名称を「内田絵子と女性の医療を考える会」として会を発足し活動を始める。2004年に法人格を取得、「NPO法人ブーゲンビリア」として活動。
会員数は210名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

目的:

ピアサポートとは同じ乳がん患者の仲間(ピア)同士でサポートすることをいう。体験者同士のサポートが、患者の治療や社会生活を円滑に進めるうえで大きな役割を果たしている。本団体では、定例のおしゃべり会のほかに、地域の医療施設や多摩地域のがん患者のためのがんサロンにスタッフが協力しているが、やはりより専門的な教育を受けたサポーターがますます必要となっている。責任性を高め、質的向上を目指すと同時に、ピアサポーターが身につけたものを学習会などを通して、広く社会に還元していく好循環のリングを形成するのが目的である。

背景:

二人に一人ががんに罹患する時代に医療者や患者をバックアップするピアサポートがより重視されてきた。医学研究でもその効果にエビデンスが認められている。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①ピアサポーター養成講座の開設

- ・本団体の会員及びピアサポーターを希望する乳がん体験者を募り、専門講師を招へいし、定期的な講義を受ける。
- ・カリキュラム構成:①入門編、②実践編、③専門編。時間数は合計47時間。
- ・医師・がん認定看護師・精神専門看護師・スピリチュアルケア従事者・教育者・臨床心理士・がん体験者など、各講師が専門分野の講義・演習を担当する。

・全プログラム参加者に「ピアカウンセラー/ピアサポーター養成講座修了証」を発行。

②ピアサポートによる社会的還元と貢献

・講座修了者は、本団体のピアサポーターとして、本団体主催のおしゃべり会、乳がん患者向けの交流会や医療施設のがんサロンへ参加し、支援活動を行う。

・希望があれば患者家族の支援を行う。

・学習会・シンポジウムを企画・運営し、正しい知識を共に学ぶと同時に、教育・啓発活動を行う。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

プロジェクトにより、上記目的の一つである専門知識を学んだピアサポーター、16名が新たに得られた。応募者全員が落伍することなく最後まで受講できた。実施回数は1講座4時間が8回、関連の学習会やシンポジウムを開催し、実習として墨田区のピンクリボン週間へ実際のピアサポーターとして参加した。講座のプログラムを定例のおしゃべり会やがんサロンへ活かし、医療施設ではサロンへ参加する患者が増え、院内では一定程度の役割を果たしている。また、医療者や関係者に本団体のピアサポート(おしゃべり会)が浸透し、多摩地域の患者が実際に病院や医療者に紹介されておしゃべり会に参加しており、昨年後半からは明らかにその数が増えている。また、東京都女性活躍推進大賞の地域分野で長年の活動が評価されて優秀賞を受賞したが、ピアサポートの概念浸透と社会的ニーズがマッチングした結果とも言え、今後も欠かせない活動であるのは間違いない。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

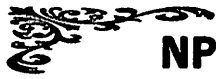
課題:ピアサポーターのすそ野を広げると同時に、専門性をより高くして一人ひとりの資質向上を今後も継続的に図るべきであり、毎年の開催が理想ではあるが、財政面や講師確保などに制約があるのが実情である。また、今回は若干タイトなスケジュールだったので、次回はスケジュールをもう少しゆるやかにして、参加者をさらに増やしたい。

展望:常設で講座を隔年ペースで、基礎コース、アドバンスコースの2コース用意する。新たな要員を確保すると同時にこれまでの要員のレベルアップを図る。ピアサポート活動をさらに社会的に浸透させるためには、行政とも連携し、結果的にがん患者のみならず本来の意味でのがん対策へつなげる一助となれば幸いである。

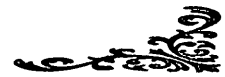
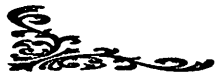
7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり



ピアサポーター 第3回養成講座



本講座も、2013年、14年と回を重ねてまいりました。
 ～ピア（Peer・仲間）とはなにか？なぜピアなのか？ピアスピリッツと8つの約束・ピアカウンセリングスキル・人を支えるということ～
 一緒にピアサポートの基礎を学んでみませんか？

会場 アイム 5階
 日程 全8講座

	日付	時間 (受付は講義 15分前より)
1	4月23日(土)	13:30-17:00
2	5月21日(土)	13:30-17:00
3	5月28日(土)	13:30-17:00
4	6月18日(土)	シンポジウム(特別講座) 13:30-17:00(無料)
5	7月3日(日)	13:30-17:00
6・7	7月10日(日)	午前・午後 2講座 10:00-17:00
8	9月4日(日)	終了式・合同学習会 13:30-17:00

講師 川上 憂子氏

講師プロフィール: 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻看護管理修士。医療福祉学研究科保健医療学専攻医療福祉政策学博士課程修了。現在、高野山大学大学院密教学専攻修士課程在学中。看護師、看護教員、介護支援専門員、スピリチュアルケアワーカー、僧侶。一般社団法人「疾患と心について考える パース」代表理事

シンポジウム・学習会では、そのほかにも医療提供者をお迎えします。

定員 20～25名(予定) 先着順・定員になり次第終了
 受講料 会員: 1回 3000円 一般: 1回 5000円 合計 7回分

	一括払い	2回払	
会員	21000円(4/23)	11000円(4/23)	10000円(7/3)
一般	35000円(4/23)	20000円(4/23)	15000円(7/3)

お支払方法についての個別相談は内田まで
 (一度納入された受講料は原則として返金いたしませんので、ご了承ください。)

申込み締切 4月 16日 内田(携帯: 090-6495-5856) まで